

〈実践〉インターネットを使った 情報検索演習

3-2

鶴見大学図書館◎長谷川 豊祐 (Toyohiro Hasegawa)

いま、公共図書館界にはインターネット時代に対応したサービスの拡大とその高度化が強く求められている。それを実現するためには、図書館職員の意識改革と自己研鑽を抜きには考えることができない。ここでは、情報収集に役立つ基礎知識と具体的な演習問題を掲載した。どのくらいの時間で方法を習得し、解答を導き出せるだろうか……。

はじめに

近年の図書館は、図書館サービスを高度化しつつ、拡大する図書館サービスへの需要をこなさなければならない。しかし、設置母体の業績不振を反映して、大多数の図書館においては、人員と予算が不足しがちである。この厳しい状況は、館種が異なる公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館でも、海外でも変わりはない。図書館は変革期を迎えている。

インターネット関連では、情報媒体の多様化により、図書館のサービスや利用者が多様化し、図書館で取り扱う資料の種類も拡大している。CD-ROM、オンライン検索、インターネットの導入に関する予算措置、利用者への操作説明、機器のメンテナンスやバージョンアップ、館員向けの操作研修など、新たに発生した業務量は少なくない。図書、雑誌、視聴覚資料に続く第4の資料群が出現したといえる。

図書館員は第4の資料群である電子資料を個人的にも使いこなし、図書館サービスに上手に組み入れて提供していかなければならない。

サーチエンジン

ホームページはさまざまな団体や個人によって運営されている。企業、政府官公庁、地方自治体、研究機関、学協会、学校、地域コミュニティ、個人などである。それらのホームページの集合がリンクによって結びついて、ひとつの大きな百科事典を構成している。この百科事典を検索するための仕組みが検索エンジンである。ディレクトリ型の検索エンジンは百科事典の事項索引であり、ロボット型の検索エンジンは百科事典に書かれているすべての文書の全文検索を行う。ホームページは複数のページから構成されており、ディレクトリ型はホームページ単位で検索を行い、ロボット型はページ単位で検索を行っている。ディレクトリ型はサイト検索、全文検索型はページ検索である。

検索エンジンは、AND、OR、NOTなどの論理演算、フレーズによる検索、更新日によって検索範囲を限定する機能、URLを指定する検索などをサポートしている。また、検索の範囲となるホームページの数は検索エンジンによって異なっているので、ひとつの検索エンジンで求める情報が見つからない場合でも、他の検索エンジンで検索できる場合もある。

[海外系]

- 収録ページが多い「Northern Light」
<<http://www.nlsearch.com/>>
検索式を登録して、新規分の検索結果をメールで受け取る
 - 検索精度が抜群にいい「Google」
<<http://www.google.com/>>
最近、ディレクトリ検索も同時にできるようになった
 - 定番の「ALTA VISTA」
<<http://www.altavista.digital.com/>>
- 3つのサーチエンジンともフレーズ検索が簡単。
" " でフレーズをくくる

[国内系]

- とにかく固有名詞やフレーズで全文検索する「goo(グー)」
<<http://goo.ne.jp/>>
- ホームページができていそうな事柄ならディレクトリ検索の「Yahoo! Japan(ヤフー)」
<<http://www.yahoo.co.jp/>>¹
- 求めているホームページが検索結果の上位に現れる「Google(グーグル)」
<<http://www.google.com/intl/ja/>>
最近はずべてここから検索する

[メタ検索]

- 複数の検索エンジンを検索「検索デスク-SearchDesk」
<<http://www.searchdesk.com/>>

質と量の充実したホームページ

特定のテーマについて特化した検索エンジンや、ホームページも多く存在している。

[一般情報の検索]

- リクルートの生活情報サイト「ISIZE(イサイズ)」
<<http://www.isize.com/>>
- 乗り換え情報は「Yahoo!路線情報」
<<http://transit.yahoo.co.jp/>>
- 電話番号と地図は「NTTタウンページ」
<<http://itp.ne.jp/>>
- 個人番号案内は「ANGEL LIN」
tel:0190-104104
- 地図は
「マピオン」<<http://www.mapion.co.jp/>>
「MapFanWeb」<<http://www.mapfan.com/>>
「JUSTMAP:ゼンリン住宅地図」
<<http://justmap.justnet.or.jp/>>
「駅前探検倶楽部 駅周辺の地図」
<http://ekimae.toshiba.co.jp/ekimap-top/map_link.html>
- 企業情報は「ComTrack(企業関連情報)」
<<http://com.navi.ntt.co.jp/>>
- 海外の企業情報は「Hoover's Online」
<<http://www.hoovers.com/>>
- 行政情報は、省庁ホームページの横断検索のできる「行政情報の総合案内」
<<http://www.clearing.admix.ne.jp/>>
- 新聞記事は「佐賀新聞」
<<http://www.saga-s.co.jp/pubt/ShinDB/search.html>>
1994年以降フルテキストまで
- 過去1年分の論題と掲載日「日本経済新聞4誌記事索引」
<<http://nikkei.goo.ne.jp/>>
- 有料の「朝日新聞DNA」
<<http://dna.asahi.com:7070/>>
- 大学を探すなら「GAKKOU NET 大学Link」
<<http://www.gakkou.net/daigaku/index.html>>
- 図書館を探すなら
「TRC日本の図書館」
<<http://www.trc.co.jp/trc-japa/guide/jplib.htm>>
「東工大の日本の図書館」
<http://www.libra.titech.ac.jp/libraries_Japan.html>

1 インタビュー: Yahoo!のリンクとしくみ. 情報の科学と技術. Vol.48, no.12, p.704-709 (1998.12)

「上田先生の日本の図書館」
<<http://www.slis.keio.ac.jp/~ueda/libwww/libwww.html>>
「UC Berkeleyの世界の図書館」
<<http://sunsite.berkeley.edu/Libweb/>>

[本の検索]

- 全国の図書館の総合目録である「NACSIS WebCat」
<<http://webcat.nacsis.ac.jp/>>
- 新刊検索は「TRC Japan新刊書籍」
<http://www.trc.co.jp/trc-japa/search/trc_www.asp>
- オンラインブックストア検索結果の上位に現れる「bk1(ビー・ケー・ワン)」
<<http://www.bk1.co.jp/>>
- ネット書店では最も有名なアマゾン「Amazon.co.jp」
<<http://www.amazon.co.jp/>>

[図書館関連情報]

- 国大図協のWGの報告書の掲載される「国立大学図書館協議会」
<<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/anul/>>
- 図書館情報学関連の雑誌記事DBと英国のMLのリストとそのアーカイブ「BUBL」
<<http://bubl.ac.uk/>>
- 図書館業務に関連した出版社、関連企業・団体をリスト、ニュース「AcqWeb」
<<http://www.library.vanderbilt.edu/law/acqs/acqs.html>>
- 雑誌関連のもっとも豊富なリンク「Serials in Cyberspace」
<<http://www.uvm.edu:80/~bmaclenn/>>
- 雑誌に関する情報源への「Faxon社のリンク集」
<http://www.faxon.com/html/fi_ir.html>

- 医学文献の検索は「PubMed」
<<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/PubMed/>>
- 日本図書館協会の会員はWeb版図書館雑誌で電子ジャーナルを体験しよう。
<<http://www.jla.or.jp/tosho/>>
申込は「WWW版『図書館雑誌』について」
<<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jla/wwwlj.htm>>

メーリングリストは 情報収集の究極のツール

新しい情報や最新動向は、多くの場合メーリングリスト(ML)から得ることができる。メーリングリストとは、特定の話題や情報によって形成されたグループに登録した全員に対して、ひとつの電子メールを同時に配信する仕組みである。

[MLのリスト]

- 「学術人文系ML日本語案内」
<<http://orlando.jp.org/VWW/ML/mljpn.html>>
- 日本の図書館関連のMLのリスト「図書館関係ML」
<<http://www.libra.titech.ac.jp/ML.html>>
- 英国のMLリスト、そのアーカイブ「MailBase」
<<http://www.mailbase.ac.uk/>>

[インターネット関連のML]

- 萩原雅之さんのInternet Survey Watchingのインターネットを使った調査「Internet Survey ML」
<<http://www.surveypwatching.com/>>

→ 初代検索の鉄人・関裕司さんによる
検索エンジンに関するサイト
「webhunter : インターネットと情報検索 ML」
<<http://www.shikencho.com/>>

[大学図書館関連の ML]

→ 大学図書館関係者 ML
「かりん」
<<http://karin30.flib.fukui-u.ac.jp/howtoml.html>>

→ 多摩大学図書館 池田さんの
「大学図書館員とレファレンスの ML」
<<http://shallot1.pine.timis.ac.jp/>>

[公共図書館関連の ML]

→ 東京大学大学院教育学研究科の
「plit-ml」
<<http://plng.p.u-tokyo.ac.jp/text/PLNG/plit.html>>

メールマガジン、電子雑誌

登録した人に電子メールで届けられるニュースレターも有用な情報源となる。

→ 「Academic Resource Guide」
<<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>>

→ Internet新聞の草分けの「INTERNET Watch」(有料)
<<http://www.watch.impress.co.jp/internet/index.htm>>

→ 電子図書館についての月刊誌「D-Lib Magazine」
<<http://www.dlib.org/>>

情報発信のために

ホームページをつくって情報発信することで、同一のテーマに興味を持つ個人や団体と連携が可能になり、ひいては情報収集につながる。

→ 無料ホームページは
「geocities (ジオシティーズ)」で作成できる。
<<http://www.geocities.co.jp>>

→ 無料メーリングリストは「EasyML」で作成できる。
<<http://www.easymail.com/>>

情報検索演習のための例題

数年前まで参考係を担当していたときにインターネットを使って情報提供した事例を以下にあげる。これまでに紹介した検索エンジンや特定テーマに関するホームページを使った検索を実際に行ってみるとよい。検索結果が数百程度であるならば、絞り込み検索を行うよりも、検索結果の上位のサイトから丹念に内容を読んでいって該当するサイトを見つけるのもよいし、検索結果のサイトの内容から検索語の再検討をすることも有効である。

1 | 実際に検索してみる

Q1

インターネットの歴史、インターネットの仕組み、インターネットの使い方について。

インターネットのことはインターネットに聞くのが一番である。Yahoo!<<http://www.yahoo.co.jp/>>でカテゴリとして存在するキーワードの「インターネット講座」で検索すると...。「地域情報:日本の地方:近畿:大阪:

教育:大学:大阪市立大学:イベント:インターネット講座」
<<http://search.yahoo.co.jp/bin/search?p=%A5%A4%A5%F3%A5%BF%A1%BC%A5%CD%A5%C3%A5%C8%B9%D6%BA%C2>>がみつかる。「インターネット概論」学術情報センター:中野秀男教授<<http://hosp.msic.med.osaka-cu.ac.jp/koho/vuniv97/lectnaka.htm>>がよさそうである。

Q2

アメリカ民謡である「峠の我が家」の歌詞と曲を知りたい。

Yahoo!<<http://www.yahoo.co.jp/>>でカテゴリーとして存在するキーワードの「歌詞」で検索。カテゴリーの「エンターテインメント:音楽:歌詞」<<http://www.yahoo.co.jp/Entertainment/Music/Lyrics/>>がある。「World Folk Song」<<http://webclub.kcom.ne.jp/mb/folksong/index.html>>でみつかる。2001年1月には<<http://www.worldfolksong.com/>>に引っ越している。

Q3

検索エンジンの守備範囲やポルノの割合に関する記事を探す。

goo<<http://goo.ne.jp/>>を「検索エンジン 守備範囲ポルノ 割合」で検索。「ZDNN: Webは冰山。ポルノは1.5%、検索エンジン守備範囲は16%」<<http://www.zdnet.co.jp/news/9907/08/necri.html>>がみつかる。CNET<<http://japan.cnet.com/>>かZDnet<<http://www.zdnet.co.jp/>>など。

2 | 各県のインターネットの状況を調べる

自分の好みの県について検索したり、その県のホームページの構成や発信情報の内容をチェックすることで、その県における情報政策を調査する。

県のネットワーク政策はどうなっているか?

県のネットワークの名称は?

県のページから、図書館へのリンクや図書館の案内へのリンクはあるか?

図書館に関する情報はどの程度まで公開されているか?

図書館のホームページはどうなっているか?

OPACはあるか? 収録点数は? 検索の手引きはわかりやすいか?

その県の有名な人物(歴史的、芸能人など)の詳細情報を、検索エンジンで探す。

のOPACについては、当館もそうであるが、OPACの公開だけで精一杯で、OPACへの蔵書の収録割合さえ書いていない図書館が多い。また、大学の構成員以外や、県外、市外からの検索に対しての利用案内も公開していないところも見受けられる。OPACを使う対象が世界に広がるわけであるから、つくる側の立場と同様に使う側の事情に対する思いやりが必要である。

3 | 図書や雑誌の書誌・所蔵

図書や雑誌の書誌事項や所蔵状況については、図書館のOPACが多数公開されているので、インターネットでの検索が効果を上げる。

→TRC日本国内の図書館

<<http://www.trc.co.jp/trc-japa/guide/library.htm>>

→日本書籍総目録

<<http://www.books.or.jp/>>

図書「Cronin, Mary J.(ポストン大学図書館):黒川利明監訳. インターネット:ビジネス活用の最前線. インターナショナル・トムソン・パブリッシング・ジャパン, 1994.10」の所蔵館は?

雑誌「ASCII(アスキー出版)」1994年9月号の所蔵館は？

『インターネット検索の技とコツ』(宝島社、1999)の所蔵館は？

図書「鈴木尚志. 検索エンジン徹底活用法:見たいページへ誰よりも速く. 日本経済新聞社, 1998.2.」の簡単な内容紹介を知りたい。

アメリカの新聞のNew York Timesの1945年を見たいが、東京周辺の図書館を紹介してほしい。

Thornton WilderのHeaven's My Destination (1930年代)「我が行く先は天国」の翻訳はあるか。

「大草原の小さな家」の原書を見たい。

「アファール猿人」別名ルーシーの「直立歩行」について最近出た本は？

日本アイヒェンドルフ協会の雑誌は何という雑誌で、どうやって入手できるか？

『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』CD-ROM版の値段を知りたい。

4 | 事項調査

事項調査についてもインターネットは有効である。しかし、有料のデータベースや図書形態の参考図書を使った方が、短時間でより精密な検索を行うことができる場合も多い。

TLOとは何か？

エコプロジェクトの概要について知りたい。

Gショックの歴史や製品情報について知りたい。

英国図書館の日本語の概要はあるか？

演劇集団Dump type(ダムタイプ)とT.Furuhashi(古橋梯二)について知りたい。

インターネット入試を行っている大学のリストがほしい。

青い雨蛙について知りたい。

横浜市の高等学校の偏差値を知りたい。

DHCPとは？インターネット関連の用語らしい。

図書館関係のメーリングリストにはどのようなものがあり、どのような議論がされているのか？

「図書館の情報化の必要性とその推進方策について: 地域の情報化推進拠点として(報告)平成10(1998)年10月27日 生涯学習審議会」<<http://www.monbu.go.jp/singi/syogai/00000227/>>をめぐる動きを知りたい。

5 | 特定サイトからの検索

検索エンジンから検索を開始するのではなく、その情報を掲載しているような特定のサイトを見つけ出すことが早道である。こういった特定テーマに特化したサイトの情報を入手するためにメーリングリストに登録して、普段から情報収集に努める必要がある。

→国文学研究資料館 国書基本DB
<<http://quartet.nijl.ac.jp/IKDBpublic/IKDB.html>>

→総務庁統計局・統計センター
<<http://www.stat.go.jp/>>

「江ノ島」の出てくる古典籍には何があるか。

「松浦宮」の出てくる古典籍には何があるか。

東京駅からの秋田新幹線「こまち」の始発時間は？角館駅までの所要時間とルートは？

京浜鶴見駅から東京駅までの所要時間とルートは？

本屋さんの丸善(株)の従業員数と業績を知りたい。

ソニー(株)の従業員数と業績を知りたい。

横浜市にある鶴見大学の地図、住所、電話番号を知りたい。

宮城大学の地図、住所、電話番号を知りたい。

1997年の消費者物価指数と数年間の傾向を知りたい。

1998年の勤労者世帯の貯蓄現在高の1世帯平均を知りたい。

6 | 全文データの検索

インターネット上には無料で公開されているフルテキストデータが多く存在する。省庁のホームページではさまざまな報告や答申が公開されている。個人のホームページからは、ホームページを運営している本人が雑誌に発表した論文も公開されることが多くなっている。また、著作権の切れている古典文学作品をフルテキスト化する動きも盛んで、多くの作品の公開も進んでいる。

「図書館員の倫理綱領」の全文を見たい。

「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について(建議)平成8年7月29日 学術審議会」を見たい。

「電子出版物の収集・保存・利用と納本制度/納本制度調査会電子出版物部会」を見たい。

「根本彰. 地域社会と公共図書館 地方分権の論理を超えて」を見たい。

「高度情報通信社会推進本部決定. 高度情報通信社会推進に向けた基本方針」を見たい。

地方分権推進委員会の勧告を見たい。

著作憲法の前文を見たい。特に電子資料の著作権について知りたい。

源氏物語の本文、雨月物語の本文、学問のすすめの本文を見たい。

1999年の人事院の給与勧告の全文を見たい。

地方自治法(地方公務員法)第204条の全文を見たい。

7 | 海外の検索

Q1

Agenda (イギリスの雑誌) に載った W.D.Snodgrass の詩 "The Starry Night" についての論評の掲載号を知りたい。

AitaVist +agenda +snodgrass +"Starry Night"

Between the Lines - Philip Hoy

<http://www.pbk.co.uk/btl/hoy.htm>

Q2

17世紀後半に誕生した最初の雑誌、フランスの Journal des Scavans (5 Jan.1665) と英国の Philosophical Transactions (6 Mar.1665) の概要とその表紙を見たい。

フランスの Journal des Scavans (5 Jan.1665) 創刊号の表紙の画像 <<http://www.bnf.fr/web-bnf/pedagos/dossism/gc189-35.htm>>[cited: 1998-11-28]、英国の Philosophical Transactions (6 Mar.1665)

創刊号の表紙の画像 <<http://www.bnf.fr/web-bnf/pedagos/dossism/gc189-36.htm>>[cited: 1998-11-28]、Philosophical Transactions の全文データ(画像) <<http://www.bodley.ox.ac.uk/ilej/>>

Q3

Lindau man or Lindou man : リンドーマンに関して知りたい。

インターネットではうまく発見できなかった。Lindau はドイツのボーデン湖畔の都市で、質問とは無関係。『ミイラ(ビジュアル博物館)』(同朋舎出版)にリンドウ人として写真と概要が掲載されており「1984年に英国チェシャー州リンドウモスの泥炭地で見つかった約2,300年前の死体。ピート・マーシュ(泥炭沼)というニックネームをつけられて有名になった」とある。

8 | 検索困難な事例

以下の事例はインターネットでも、職場で所蔵する図書形態の参考資料からも発見できなかった質問である。

北緯40度40分、西経70度37分は陸か、海か。
小林やすのぶ編纂 東京切絵図 中島くまじろう出版
は全何枚か。
東と西の文学「東と西の文学の会」7号 1987 瀬川
裕司 救世主は如何にして緩慢に死ぬか G・グ
ラス「猫と鼠」試論 を取り寄せてほしい。
大阪遊技史学会の住所と電話番号を知りたい。
再来年の春分の日と秋分の日はいつか。
幕末の日本の大砲の絵を見たい。
1700年代の英国の女性の相続税の概要について
知りたい。

WEGAの開発戦略などについて知りたい。
ダイオキシンについて知りたい。
コンビニの商品仕入れの仕組みや、陳列方法につ
いて知りたい。

長谷川 豊祐 (はせがわ・とよひろ)
鶴見大学図書館
E-mail: toyohiro@mub.biglobe.ne.jp

1979年 4月より現職。日本図書館協会出版委員、日本医学図書館協会出
版委員、通産省データベース表記・表現専門委員会委員。96年 9月より
『図書館員のためのインターネット』を運営<<http://www2d.biglobe.ne.jp/~st886ngw/index.htm>>。内容は、図書館業務に関連するリンク集、イン
ターネットによる図書館業務支援に関するレポート、雑誌への執筆論文や
講演レジュメの再録。99年2月より『serialst-j: 学術情報流通メーリング
リスト』を主宰<<http://www.geocities.co.jp/Berkeley/4105/index.htm>>。

参考文献

- * 特集 = E-Commerceと図書館。情報の科学と技術。51(1) 2001.1 DBサービス提供会社では、Dialogなどの書誌系が苦戦し、全文検索系が善戦している。図書館OPACは書誌・所蔵データの背後に持っている本という全文データを無料で提供する点が強みである。書誌・所蔵データはインターネットで瞬時に利用者のもとに届くが、本は物流の整備がなくては同じスピードで届かない。商業ベースで同業者との競争によってネット書店の顧客サービスは向上しており、図書館OPACの操作性や資料提供にたいする利用者の要求も高度なものになってくる。必読。
- * 『インターネット最強の検索術』 / 関裕司 (リプロス / 2000.12) ISBN:4-7952-5087-1
ここに掲載されているURL集<<http://www.shikencho.com/book/saikyo/00.html>>が公開されている。必読。
- * 『インターネット検索の技とコツ』 (宝島社, 1999)
- * 『検索の達人: 週末のインターネット』 / 村上晶・村上弘子著 / 東京 (NECクリエイティブ / 1999.4.)
- * 『インターネット「超」活用法』 / 野口悠紀雄著 / 東京 (講談社 / 1999.4.)
- * 『アリアドネ。思考のためのインターネット』 (ちくま新書, 1999)
- * 『エ・ビスコム・テック・ラボ。検索エンジン読本』 (ピー.エヌ.エヌ / 1998.2.)
- * 『検索エンジン徹底活用法。見たいページへ誰よりも速く』 / 鈴木尚志 / (日本経済新聞社 / 1998.2.)
- * 『サーチエンジン徹底活用法』 / 原田昌紀著 / 東京 (オーム社 / 1997.12.)
- * 『インターネット探検』 / 立花隆著 / 東京 (講談社 / 1996.4. -189p)
- * 『検索エンジンのしくみ教えます』 <<http://www.mars.sphere.ne.jp/engine/index.htm>>
ヘルプに書かれていない検索エンジンの裏側のしくみ
- * 『サーチエンジンルーム』 <<http://netnavi.nikkeibp.co.jp/top/search/top.shtml>>
国内外の主要検索エンジンを、同じインタフェースで利用できる。1つまたは2つのキーワードで、次々と検索エンジンを利用したいときに便利。
- * 『検索デスク』 <<http://www.searchdesk.com/>>
- * 『インターネットと情報検索 / きになる』 WEB<<http://www.shikencho.com/>>

(本稿は「平成11年度北日本地区図書館研修」で用いたテキストを再構成しました)